宿泊研修・スキー遠足

２月１８日、１９日の２日間、ピリカで宿泊研修旅行が行われました。今年から始めた活動で、５年生４名、６年生３名が１泊２日の研修旅行を楽しみました。

最初は、ピリカ旧石器文化館で勾玉作りに挑戦し、オリジナルの作品を作り上げました。

夕食の後は、ナイタースキー。昭明で照らされたゲレンデは、昼間とは別世界。７人の子どもたちは最高の笑顔で、スキーを楽しんでいました。

一夜明けて翌日は、１～４年生までも加わって、全校でのスキー遠足。学校のゲレンデ授業を含めて、最後のスキー学習となりました。

この日も、頂上付近からはピリカダムが見渡せる絶好のスキー日和。

学校の裏山でのスキー授業、そして、２回のピリカのスキー体験で、子どもたちの技能もそれぞれ上達しました。

午後の最後の滑りでは、班に分かれての自由滑走を楽しみました。

3月

2日(火) ブックン来校　外国語活動
　　職員会議　保体委員会ミニレク
3日(水) 参観日　給食試食会
4日(木) 児童会役員選挙
7日(月) 安全点検日
9日(水) 外国語(高) 職員会議
9日(水) PTA 三役委員長会議、PTA 全体会議
11日(金) 貯金日
16日(水) 卒業式総練習　職員会議
18日(金) 第 117 回卒業証書授与式　給食なし
20日(日) 春分の日
21日(月) 振替休日
24日(木) 弁当日
25日(金) 修了式・離任式
26日(土) ～31日(木) 学年末休業
26日(土) PTA・自治会合同送別会

種小便り

今金町立種川小学校通信　平成 28 年 3 月 1 日発行　第 13 号

学校教育目標
- 学び合い 高め合う子ども
- みんなと協力し合う子ども
- 美しさを求め 心の豊かな子ども
- たくましく 健康な子ども

スキー

校長　安田彰浩

雪・・・太宰治は、小説「津軽」の冒頭で、津軽に降る７種類の雪を紹介しています。こな雪、つぶ雪、わた雪、みづ雪、かた雪、ざらめ雪、こほり雪です。それぞれはっきりと言い表すことはできませんが、文字を見ているとなんとなくその雪がうかんでくる気がします。

他にも、淡雪、薄雪、細雪、玉雪、餅雪など様々な言葉があります。雪一つに関しても、優しい観察眼と豊かな感性も持って趣のある情景を生みだす数多くの言葉を想像してきた日本人って、素晴らしいなと思います。最近降る雪は、何という雪になるのでしょうね。みづ雪でしょうか。

さて、２月１８日、１９日は、今年から開始した宿泊学習でした。５・６年生の子どもたち７名が、クアプラザピリカに宿泊し、勉強してきました。宿泊学習（研修）とは、宿泊施設、キャンプ等の利用による宿泊を伴う集団活動の学習を主としたねらいとする学校の学習活動の一つで、在学中に１回実施すると定められている学校行事です。日頃の学校裏山でのスキー学習の成果を生かしながら、スキーを存分に体験させてあげたいという私たちの願いも合わせて、今年の宿泊学習の計画をつくり、出かけてきました。

まず、ピリカ旧石器文化館で、今金の大昔の生活について学芸員の先生からお話を聞かせていただきました。ピリカだけではなく、種川からも石器などが出ていることを聞き、子どもたちはとても興味を引かれたようでした。また、いろいろな形状の石器なども見せてもらいました。石器の作り方でピリカ方式と名づけられた作り方があるなど、今金についての新たな発見が子どもたちにはあったようです。また、実際に勾玉づくりも体験してきました。丁寧にいとおしそうに子どもたちは勾玉になる石を磨いていました。夜は、夜で、スキー場でのナイターです。昼間のスキーとはまた違ったスキーのだいご味を味わえたのかなと思います。そして友だちとの宿泊。一緒にお風呂に入ったり、おしゃべりをしたりして夜を過ごしていました。

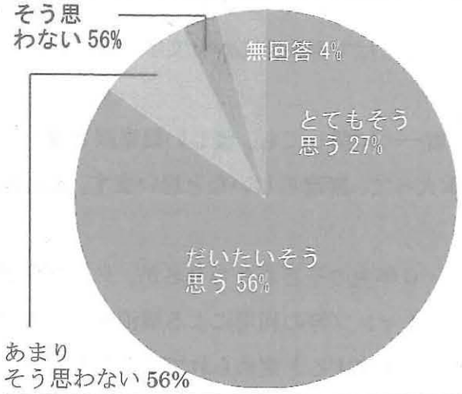
翌日は、スキー遠足としてやってきた他の在校生と合流し、ピリカスキー場のゲレンデを何回も何回も滑ってスキーを楽しみました。子どもたち同士お互いの触れ合いを深めるとともに今金の自然や文化を直接見聞し知見を広めることができ、宿泊学習の目的は達成できたのかなと思います。保護者の皆さまのご理解とご協力どうもありがとうございました。今年、５・６年生で宿泊学習に出かけましたので、来年度、宿泊学習は行いません。その次の宿泊学習については今回の反省をもとに、改めて計画を立てていく予定です。

さて、種川小学校での今年のスキー学習も今回の宿泊学習とスキー遠足でおしまいです。スキー場の夜間開放も終了です。この間、大きな怪我なども無く、子どもたちは元気に北海道の冬のスポーツ：スキーを十分楽しむことができました。学校裏山の整備、ロープ塔の準備、スキー場の夜間開放当番など、保護者・地域の皆さまにはいろいろとご支援・ご協力をいただきました。本当にありがとうございました。

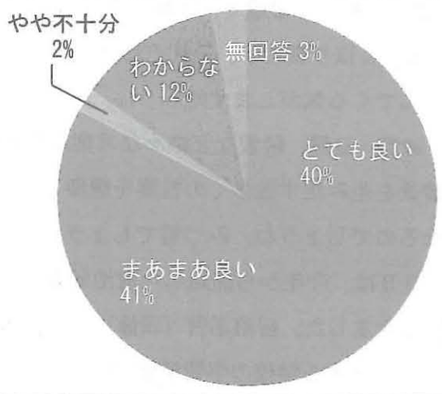
種川地域アンケートの結果について

本年１月に実施いたしました種川地域住民の全世帯を対象に実施させていただきましたアンケートについて、以下の通り概要をまとめましたので、ご報告させていただきます。回収率は８２％でした。皆様、ご協力ありがとうございました。

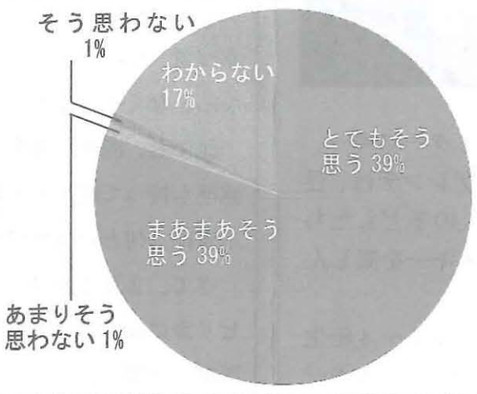
１　種川小学校の教育の様子は、学校通信、フェイスブック、学校前看板などで、皆様へよく伝わっていましたか。



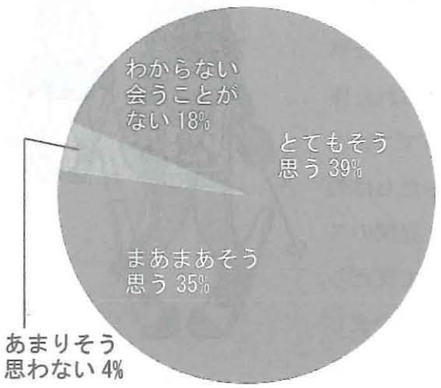
２　種川小学校は、地域の方に来ていただいたり、地域へ出向いて学習したりする教育活動を進めてきました。あなたはこれらの活動について、どのようにお感じになりますか。



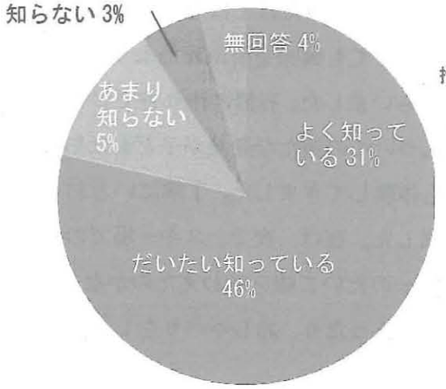
３　種川小学校の子どもたちは、地域の行事へよく参加していたと思いますか。



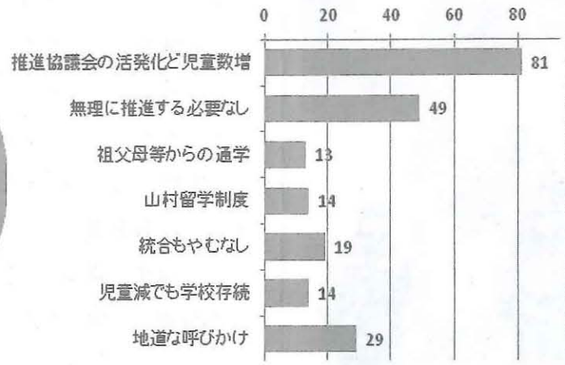
４　種川小学校の子どもたちは、地域の皆さんに会ったら元気に挨拶をしていますか。



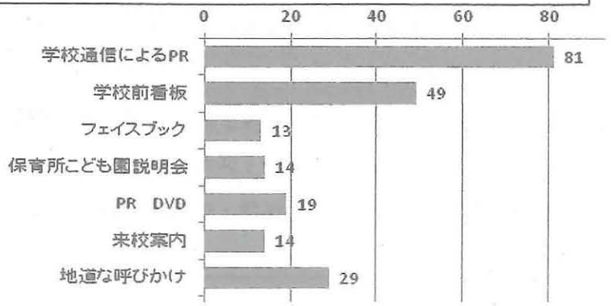
５　種川小学校は小規模特認校として、全町から子どもたちを受け入れる制度がスタートしました。あなたはこのことをご存知でしたか。



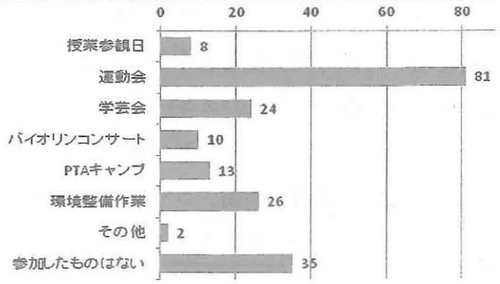
８　あなたがこれからの種川小学校に対する思いはどんなことですか。



７　小規模特認校実施に向けての活動でご存じにものを教えて下さい。以下の設問は、複数回答、単位は人



６　本年度の種川小学校の行事で参加された行事はどれですか。その他はふるさとの恵みに感謝する会と入学式。



ご意見として、学校やPTA、小規模特認校推進協議会への応援のお言葉やご要望もいただきました。ありがとうございました。次年度の学校運営の貴重な資料とさせていただきます。

地域アンケートの結果を受けて

左の通りの地域アンケートの結果を受けて、次の事項を次年度の学校運営に生かして参ります。

１小規模特認校として小規模特認校推進協議会と協力しながら、PR活動を存続すると共に、地域や保護者の期待に応える教育活動を全職員が一致協力して推進してきます。
２地域の人材を発掘し、ふるさと先生の活動をより充実させていくよう努力をします。
３地域を愛する子どもたちを育てるため、子どもたちに積極的に地域行事、町の行事への参加を促すと共に、学校と地域が直接関わりのある行事（敬老会、お祭り）などにおいて地域の方々とのふれあい場面を一層大切にしていきます。

バイキング給食

２３日、年に１度のバイキング給食が行われました。春巻きや唐揚げ、いなり寿司、ゴボウサラダなど、たくさんのメニューの中から、子どもたちは栄養のバランスを考えながら、食べ物を皿に盛りつけました。

子どもたちは、栄養士さんや調理員さんとお話をしながら、子どもたちはいつもより豪華な給食を楽しんでいました。（写真は４年生）

６年生を送る会

２９日、児童会主催の６年生を送る会が行われました。今年度卒業するのは、女子３名。みんなでゲームをした後、各学年の出し物で六年生の卒業を祝いました（写真は、２・３年生企画の魚釣りゲーム）。

最後にみんなが書いたメッセージカードを６年生に渡し、卒業を祝いました。